

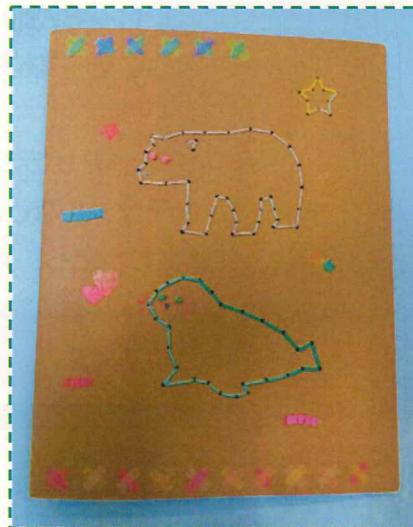
はくぶつかんクラブへようこそ！ 2019年6月1日(土) 10:00~12:00

どうぶつ 「動物ししゅうのクリアファイル」

きょう ひょうし いろ いと
今日はクリアファイルの表紙に色とりどりの糸（コットンヤーン）で、シロクマ
(ホッキョクグマ) やアザラシをししゅうします。

ぬの かみ あな
布とちがって紙に穴をあけてからししゅうします。ししゅうをするのが初めての
人も楽しみながらししゅうにチャレンジしましょう。

さいご かざ さくひん
最後にマスキングテープで飾りつけをして、オリジナルの作品にしあげます。



はじめに

きた ひと じぶん
北にくらす人々は、自分たちのまわりにいる「シカ」や「トナカイ」、「アザラシ」
や「クジラ」、「サケ」や「マス」などの動物や魚をつかまえたり、木の皮や根、ベ
リーなどの植物を利用するための道具や技をもっていました。

げんざい わたし
(現在は、私たちとほとんど変わらない生活をしています。)

こんかい きた ひと むかし ざいりょう どうぶつ
今回は北にくらす人々が昔からものづくりの材料としてつかってきた動物の
なかで、シロクマ(ホッキョクグマ)とアザラシに注目しましょう。

さあ、つくってみよう！

材料・道具

表紙が紙のクリアファイル、糸（コットンヤーン）、マスキングテープ、
とじ針、シロクマ・アザラシのデザイン画、ハサミ、セロハンテープ、
木づち、ゴム板ハトメ抜き、ウラ側用の色つきシート



つくりはじめる前に

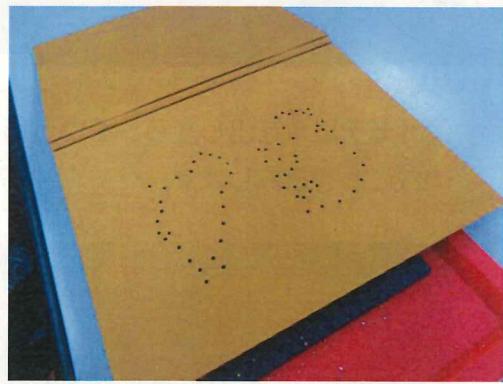
今日は『とじ針』と『木づち』という道具を使います。

『とじ針』は先が丸くなっていますが、指を刺さないように注意して使いましょう。

『木づち』を使うときは、手にあたらないように気をつけましょう。

表紙にシロクマ（ホッキョクグマ）とアザラシのししゅうをします。

ししゅうするデザインに合わせて、表紙に穴を開けます。



赤い点がついているところに穴を開けます。

糸（コットンヤーン）をえらびます。

ハサミで見本の糸の長さに切れます。



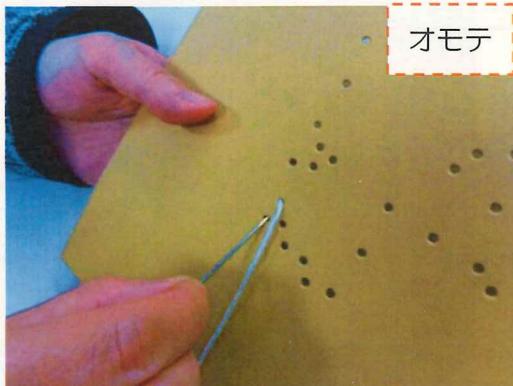
ひょうし がわ いと
表紙のウラ側から糸をとおす。

①針に糸をとおします。

②ウラ側から始まりの穴に糸をとおしたら、糸はしを2cm残し、セロハンテープでとめます。



あけた穴にそって、糸をとおしていく。



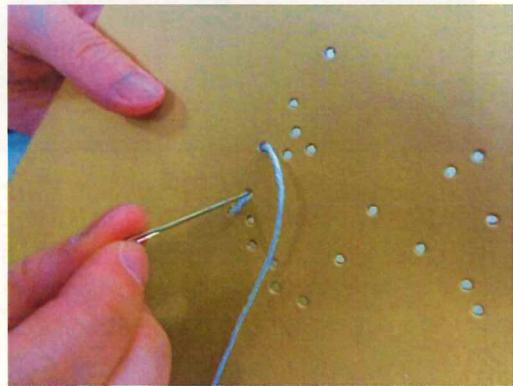
①オモテに糸を出したら、1つうしろの穴に糸をとおします。

バックステッチで点を線のようにししゅうしていくとデザイン画のりんかくができるがっていきます。

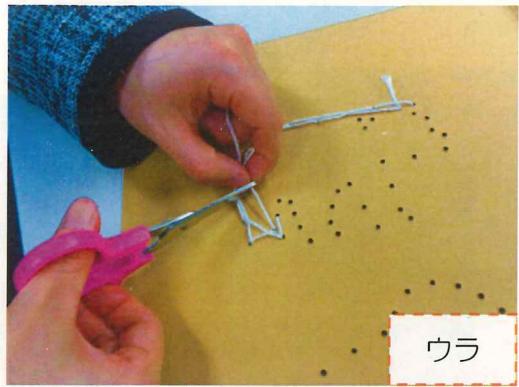
バックステッチとは、始まりの穴から1度うしろに戻ってから前に針を出して進んでいく方法です。



②ウラ側から2つ先の穴にとおします。

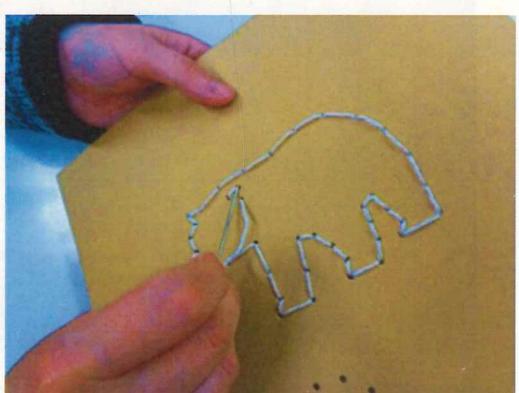
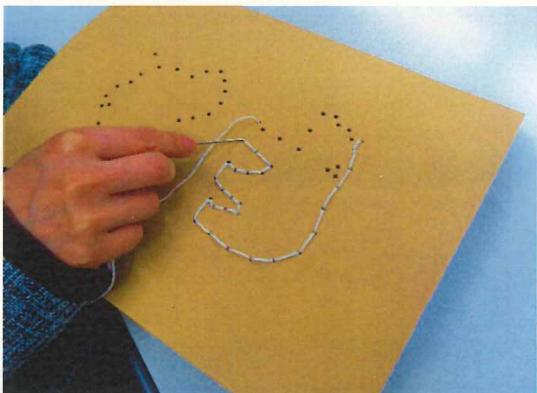


③1つうしろの穴にもどります。

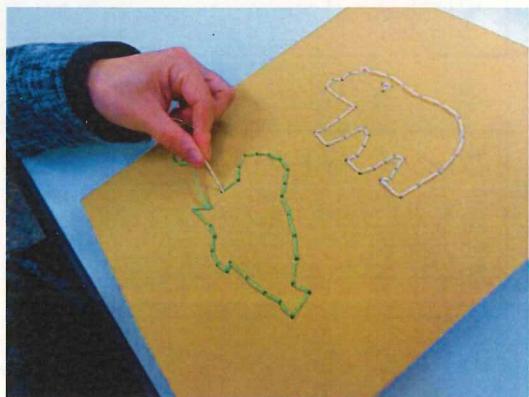


④くり返します。

⑤糸が足りない時や糸の色を変える時は、ウラ側で糸はしを2cm残して切って、セロハンテープでとめます。

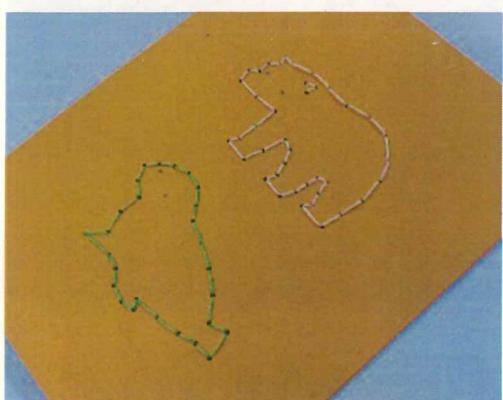
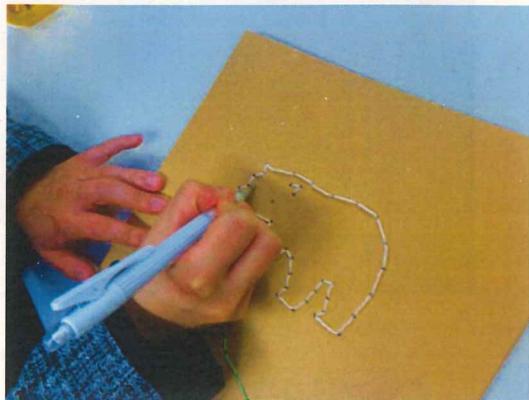


⑥すすめます。



⑦最後までいったら、
ウラ側で糸はしを2cm残して切って、
セロハンテープでとめます。

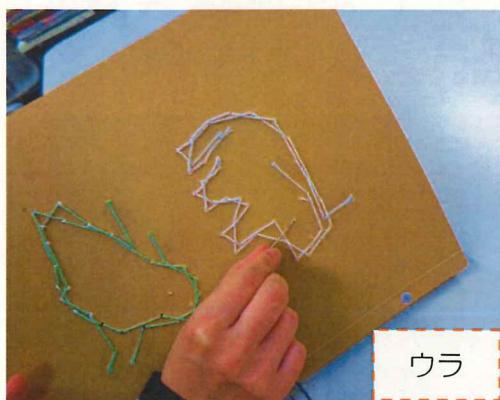
シロクマ(ホッキョクグマ)やアザラシの目をつける。



①えんぴつで目の位置にしるしをつけます。



②しるしをつけたら、穴をあけます。

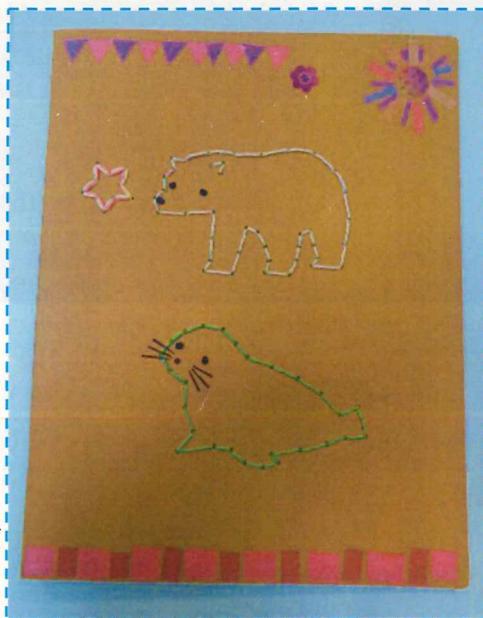


目はフレンチノットステッチでししゅうします。

フレンチノットステッチとは、糸を針にかけ、糸を引きながら結び目をつくるステッチです。

③ウラ側から始まりの穴に糸をとおしたら、糸はしを2cm残し、セロハンテープでとめます。

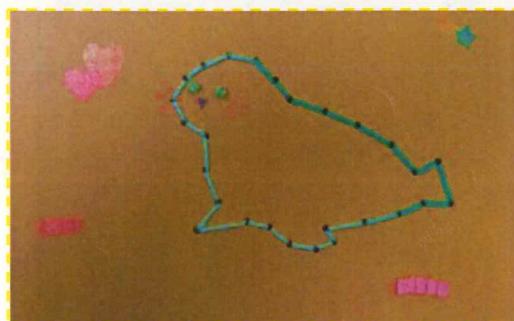
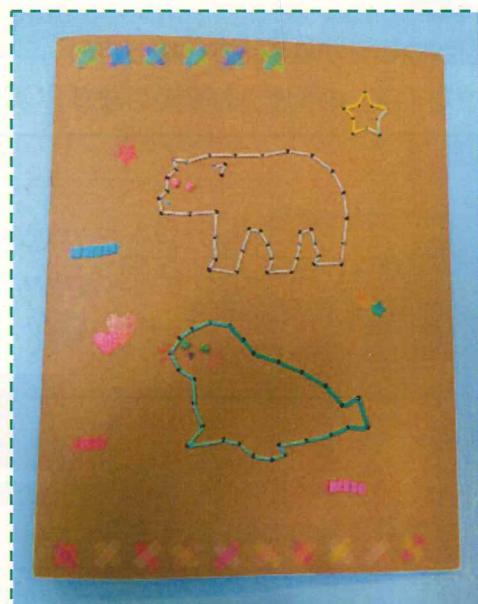
マスキングテープやシールでかぎりつけをします。



できあがり♪



名前なまえのシール(★ししゅうつき)を
つくりました。
よかったです、クリアファイルに
はってね♪



また、はくぶつかんクラブあそびに遊びに来てね♪

